

## 国連グローバル・コンパクト 2005 年度活動実績

アマタ株式会社

### 1) 『人権』に関して

- ・労働者およびその代表との協議のもとに、よりやりがいと主体性をもって業務を行えるよう、職場環境の整備と労働条件を整えました。具体的には、専門職コースの新設による人事コースの複線化や、仕事の成果を所要時間ではなくアウトプットの質で測る裁量労働制を導入し、業務を進める上でより個人の裁量を活かせるようにしました。
- ・採用において、国籍・性別・学歴による差別を行わないこととし、採用面接官への教育を実施しました。
- ・『個人情報保護方針』を定め、個人情報の問合せと開示、訂正、利用停止等の請求手続きについて、当社ホームページを通じて、社内外に周知徹底しました。
- ・愛知万博の国連館で行われた学生討論会の運営について、寄付を行い、人権意識の向上・啓蒙に寄与しました。
- ・コンプライアンスの視点から、社内外の環境を整備するため、各部署の担当者による CSR 委員会を組織し、CSR 活動に現場主導の取組みを導入しました。

### 2) 『労働基準』に関して

- ・いわゆる「サービス残業」が発生するリスクを未然に防ぐため、勤怠管理の手法を改正し、全社員への説明会を実施しました。
- ・社内の処遇においては、公平さを重んじ透明性を高める運用に努めていますが、個別にカウンセリングを行い、必要に応じた対策が取れるよう、全社員に対する人事面談を実施しました。
- ・現行の育児・介護関連規程を更に充実させました。具体的には、育児休業の延長（1年→1年6ヶ月）への対応や、時間外・深夜労働の制限、また有給にて子の看護休暇を新設しました。

### 3) 『環境』に関して

- ・「持続可能性」と「経済」との本質的な融合のために、7月に「持続可能経済研究所」を開設し、持続可能な農林水産業の構築、地域再生コンサルティングを通じて、「社会の環境化」をさらに推進しています。
- ・持続可能経済研究所において、セネガル農業代表団に対して、農林水産業の持続可能性確立をテーマに研修を行い、グローバルな働きかけを行いました。
- ・持続可能なエネルギーであるバイオガス発電プラントの運営に参画し、将来のエネルギー政策のあるべき姿を実証研究しており、8月には京丹後循環資源製造所を開設し、安定運用に努めています。

- ・取引先に対し、環境問題の予防的なアプローチを提供する以下の事業において、より売上げを拡大し、社会的な環境負荷低減に貢献しています。
  - －廃棄物リスク診断サービス
  - －廃棄物管理実務者研修サービス
  - －FSC 森林認証
- ・大学生のインターンシップを積極的に受入れ、環境分野に対する就業意識向上に寄与しています。
- ・リサイクル関連情報の FAX サービスを、企業の廃棄物管理担当者など 2,100 名（2006 年 3 月時点）に対して、毎月 1 回継続して発信し、意識啓蒙に努めました。

#### 4) 『腐敗防止』に関して

- ・内部監査、コンプライアンス監査を継続して行い、腐敗防止の啓蒙に努めています。
- ・入社時研修やインサイダー取引を未然に防止するための教育、CSR 活動を通じて、関係法令の正しい知識と運用上の留意点について意識付けを図っています。